

神杉自治連だより

神杉駅開業100周年記念みんなで祝福

11月20日（日）晴天に恵まれ、地域の皆さんで開業100周年となる節目をお祝いしました。



神杉駅舎の東側に特設ステージを設け、9時30分から多くの来賓のご臨席のもと、和田由紀さんの進行で、有田自治会連合会長があいさつを行い、福岡

誠志三次市長、下森宏昭県議会議員、玉井優子広島県副知事、福永修二三次鉄道部長から心温まるお祝いの言葉をいただきました。

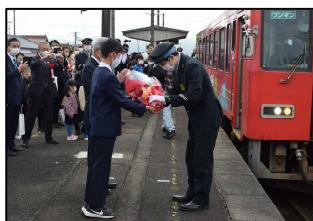
その後、来賓の方々が紹介され、一日神杉駅長久保承太郎君（塩町中1年）の任命式、神杉剣道スポーツ少年団へ感謝状（定期的に駅の清掃を行っていることに対して）が贈呈され、盛大に開式セレモニーが実施されました。

式典終了後は、プラットフォームへ移動し、10時17分神杉駅発三次行きのカープ列車の



運転手に神杉小学校児童会長、井川弘一朗君が花束と記念品を贈呈し、一日駅長久保承太郎君の出発合図で出発式を行いました。同時に煙火が上がり、神杉保育所園児2名がくす玉を割り、「祝神杉駅100周年」の垂れ幕が見事に現われました。

県立広島大学の学生により鉄道唱歌が演奏され、出発式に花を添えました。



改札口付近では

記念碑の除幕式、駅舎の東側では桜の記念植樹を行い来賓の方々のご協力により予定していたセレモニーが全て終了しました。



神杉地区
自治会連合会
TEL 66-1323
2022/12/12 発行
11月末（前月比）
人口 1,495(+1)
世帯 605(+3)
ホームページ
kamisugi@city.jp



駅舎の中では、懐かしい蒸気機関車の写真や国鉄時代の制服、鉄道に係る様々な貴重品を展示し、屋外では地元ママさんグループのテントコーナー、県立広島大学生とフードオアシス三次がコラボした神杉縁線弁当の販売や、地元の取れたて新鮮野菜、はちみつなどの販売を行い、多くの方が買い求めておられました。



また、有田千津江さん宅の建物をお借りして、県立広島大学の吉野教授が制作されたジオラマの展示は、子どもたちに大人気で、大人も精巧な作りに夢中になって見ていました。

特設ステージでは、藤後敏彦さんの軽妙な司会で、県立広島大学のウインドオーケストラ演奏が始まり、神杉よいとこ振興保存会のカラオケ熱唱、熟練の社交ダンス、銭太鼓高杉会の自腹・・・での腹踊りと貫緑の銭太鼓の披露。保育所園児のかわいい歌とダンスで盛り上がり、最後は高山秋子さんのパワフルな歌声で100周年を祝いました。





また、今年6月に開催された、第17回神杉大田植写真コンテストの表彰式も行いました。

最後は景品の当たる福餅まきを行って全てを終了しました。



実行委員さん、関係者の皆さん方の絶大なるご協力のもと、地区内外より500名以上のご来場をいただき盛会裏

のうちに終了できました。

記念事業開催に当たり、駅周辺の皆様には、駐車場やテント設置のために土地を提供していただき、円滑な運営にご協力いただきました。

駅構内の草加文字と菊人形で目を楽しませていただいた、みよし園芸福祉ネットワークの皆さん。更には、株式会社国原組様にはボランティアで駅広場を整地していただきましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。



神杉大田植に続き、地域としての行事が実施でき、参加された方は行事を通じて改めて人と人とのつながりの大切さを実感されています。

「100年のありがとう そして未来へ」

このことをきっかけとして、地域が増々発展していきますよう力を合わせて進みましょう。

議会報告・懇談会開催

11月29日（火）議会報告・懇談会が神杉自治会館で開催されました。市議会議員5名と地区内外からの参加者は24名でした。

まず議員定数を24人から22人の2人減に付いての経過報告がありました。三次市は19の自治組織から成り立っていることを踏まえ、人口の多い十日市・八次等を考慮すると適正であるという意見や、減少した2名分の人件費は他に回す意見。反対に議会の持続可能を考慮すると人件費を上げ若い方の参加を促す必要があるとの意見も出ていました。

その後特にテーマは決めずにフリートークで意見交流をしました。鳥獣害対策、農地の維持管理に関する問題、慰霊碑の問題、コミュニティセンターの改築について等、今現在抱えている問題を様々な角度でテーマに上げ議論しました。議員各位の今後の進め方に注目し、諸般の問題について良い結果が出るよう期待し、また途中の経過報告ができるようにしっかりと対応していただくことをお願いしたいと思います。



神杉自主防災会県知事表彰

11月17日（木）神杉自主防災会は、県知事表彰を受けました。

神杉地域全体で、消防団・防災士など関連組織と連携を図り、定期的且つ継続的に防災訓練や避難訓練を行い、地域防災力の向上に尽力していることが評価されました。

表彰式には神杉自主防災会 有田雅俊会長が

県庁に赴き受け取られました。

これも地域の皆さんの防災に対する意識の向上と協力体制があつてこそその受彰となったものです。

環境が刻々と変化していく中、さらなる高みを求めて地域の皆さんと一緒に安全・安心に向けて、レベルアップしていきましょう。



尾首山憩いの森秋のイベント

11月27日（日）尾首山で秋のイベントを開催しました。コロナ禍で3年ぶりの開催でしたが、約60名の方が参加してくださいました。

子どもたちは、森の中での宝探しや丸太切り体験、冒険の森での遊具遊び。大人はブドウの蔓のリースづくりを体験しました。

丸太切り体験では、初めてのこぎりを持つ子どもたちばかりでしたが、実行委員さんの優しい手ほどきで、ギコギコとゆっくり切り落としていました。大人のリースづくりは、飾りの材料を思い思いにセンス良く飾り付けておられました。

「これ自治会館に飾って」と、自治会館用を作った方もおられました。



その後、おいしい焼き芋や豚汁でお腹も満たし、秋の尾首山を満喫しました。



農免道のゴミ拾いと花いっぱい運動

神杉地区公衆衛生推進協議会（会長 新川誠司さん）は、12月4日（日）、農免道陸橋付近から山手交差点まで、ゴミ拾いを行いました。相変わらずポイ捨てが多くみられます。お互いリユース・リデュース・リサイクルを心がけましょう。

各地区においてもごみのポイ捨て防止の啓発をお願いします。

また、自治会館正面玄関、

小学校正門、山手交差点の記

念碑の花壇へパンジーの花の植え付けを行いました。

気持ちよく新年が迎えられそうです。



給食サービス実施しました

神杉地区社会福祉協議会（会長

住田彰宣さん）は、11月26日（土）

地区内の対象者119名へ給食弁当をお配りしました。

コロナ禍で給食ボランティアさ

んの手作り弁当は見合わせ、業者委託のお弁当でした。

お弁当をお届けする時には安否確認を兼ねて声をお掛けしていますが、逆に「ありがとう。気を付けてね。」と、労いの言葉で見送ってくださいる方もおられます。

後日、「美味しかったよ。」の一言がまた次回お届けする時の励みになります。

これからますます寒さが増してきますのでどうぞご自愛ください。



神杉少年剣道スポーツ少年団

神杉少年剣道スポーツ少年団は、神杉5区在住の田原義隆師範が2015年4月に「神杉少年剣道教室」として小中学生9名で発足。同年6月から三次市のスポーツ少年団として認定されました。2022年現在の団員数は15名（高校生1名・中学生4名・小学生8名・未就学児2名で、男子8名、女子7名）です。

私たちは、「神杉少年剣道スポーツ少年団・剣道五訓」を教えの基本として、剣道を通して子どもたちの心と体を育んでいきます。

【神杉少年剣道スポーツ少年団 剣道五訓】

- 一、教えや礼儀を守る
- 一、常に真剣な態度
- 一、清潔と安全を守る
- 一、仲間を大切に協力する
- 一、立派な大人を目指す



稽古は、毎週月曜日の17時～18時30分（祝祭日はお休み）に神杉小学校体育館で行なっています。

稽古以外では、三次市内で開催される剣道大会への参加や、毎年秋の級審査・段審査への挑戦が活動の中心となります。

その他、三次市スポーツ少年団主催のマラソン大会などにも積極的に参加しています。

また、地域貢献活動として神杉駅の構内とトイレの清掃を毎年夏休みに行ない、地域の方々から感謝のお言葉をいただいています。

「剣は心なり。
心正しからざれば
剣また正しからず。
剣を学ばんとするものは
まず心を学べよ。」

島田虎之助

（江戸時代の剣客）

この言葉は、剣道五訓とともに稽古の始めと終わりに必ずみんなで声に出して読み上げる言葉です。

神杉少年剣道スポーツ少年団では、これからも、剣道と地域貢献活動を通して、子どもたち一人一人の心の健全な成長を目指します。

最後になりましたが、いつもご支援ご協力いただいている三次市スポーツ少年団、神杉地区自治会連合会、神杉地区社会福祉協議会、青少年育成神杉町民会議、神杉小学校の先生方、そしていつも応援してくださる神杉の皆様にご心より感謝申し上げます。

今後とも、あたたかく見守っていただけたら幸いです。

神杉少年剣道スポーツ少年団
保護者代表 日熊 学



11月20日に開催された神杉駅100周年記念事業において、JR西日本より感謝状が贈呈され、神杉駅舎内へ掲示されています。



12月 講座・行事・会議予定



- 12日(月) 神杉わくわく講座 社交ダンス
- 13日(火) 舞踊 三味線
- 14日(水) パン教室 民児協ケア会議
- 15日(木) 俳句 J A女性部おせち料理講習会
- 18日(日) グラウンドゴルフ月例会
- 19日(月) 社交ダンス
- 20日(火) 三味線
- 21日(水) 書道
- 22日(木) 絵手紙 三役会議
- 23日(金) 生花
- 28日(水) 仕事納め

※12月29日(木)～1月3日(火) 休館

1月 講座・行事・会議予定

- 4日(水) 仕事始め
- 6日(金) パソコン教室
- 9日(月) 社交ダンス
- 10日(火) 三味線 広報配布日



お知らせ

民生委員の変更について

令和4年12月1日付けで民生委員・児童委員の一斉改選が行われ、神杉地区では、廻神担当の伊藤理知子さんが退任され、新しく沖田智鶴さん(12区)が就任されました。

伊藤理知子さん、これまで長い間
大変ありがとうございました。
沖田智鶴さんには、これから
よろしくお願いいたします。



編集後記

サッカーワールドカップ。

日本の活躍で楽しませてもらった。

昔に比べ、球回しや裏を突く速さ、プレッシャーのかけ方など、随分スピード

感があつた。

カープの菊池選手が10年連続ゴールデングラブ賞を受賞したことも相通じる

ものではないか。

何事もスピード感と正確さは人に楽し

さと感動を与えものと感じた。

今年も大変お世話になりました。

よいお年をお迎えください。

新

J A女性部神杉支部

おいしいコーヒーの淹れ方講座

J A三次女性部支部(支部長 三原明美さん)は、11月29日(火)自治会館実習室で、コーヒー講座を開催し14名が参加しました。

講師は、三良坂珈琲の佐々木崇行さんで、まずはコーヒーの基礎知識を教えていただき、その後淹れ方の実演を見学しました。

いよいよグループに分かれて、一人ずつ「こうだったよね・・・」と少し緊張しながらも、楽しく淹れることができました。

コーヒーの香りに包まれて、美味しいケーキをいただきながら優雅なひと時を過ごしました。

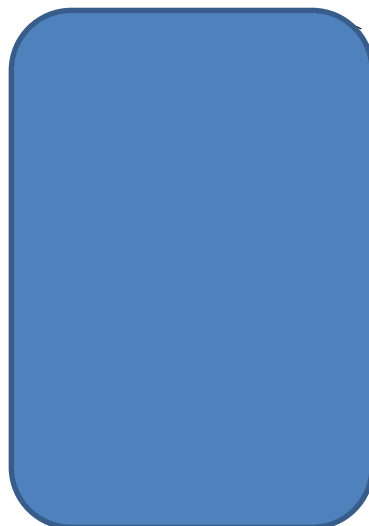


いつか誰でも、美味しいコーヒーが飲める場所を作りたいと感じる素敵な講座でした。

愛の灯

令和四年十一月一日から
同月末日までに、次の方からご寄付
が寄せられました。
神杉地区社会福祉協議会へ

紙面をおかりしまして、
衷心より厚くお礼申し上げます。



山脈句会(十一月)

秋の宵病に臥して得る学び

中藤 博文

かがし立て効果技群始めだけ

住田東洋男

静寂な古代の丘に紅葉映え

田原 洋子

二人で玉ねぎ植えて暮早し

広川テル子

石畳落葉蹴散らし歩くなり

中本 好美

